

発 行
福井県大野市役所
(総務課広報係)
電話(代)6-3600
夜 間 6-3601
印刷松浦印刷所



10月の人口の動き
出生 男 22 女 29 計 51
死亡 " 10 " 12 " 22
転入 " 137 " 148 " 285
転出 " 154 " 150 " 344
世帯数 9,924
人 口 44,382
男 21,324 女 23,061

財政再建計画を承認

第101回定例市議会

第101回9月定例市議会は 9月25日から10月2日までの8日間開かれ、慎重な審議の結果、財政再建計画の承認ほか 6議案原案どおりそれぞれ可決、陳情 4件、請願2件が採択されました。

また、欠員中の公平委員会委員、教育委員会委員、固定資産評価審査委員会委員についてはそれぞれ議会の同意を得て各委員が選任されました。

このあと、選挙管理委員および補充員の選挙が行なわれそれぞれ 4氏が決まりました。

選任、当選された各委員、補充委員は次ぎのとおりです

- ◎ 公平委員会委員 宇野治一 (明倫町)
- ◎ 教育委員会委員 北岑吟海 (牛ヶ原)

◎ 固定資産
評価審査委員
松田市治
(東山)

◎ 選挙管理
委員および補
充員
委員 浅山静
(高砂町)

宮沢西兵衛
(菖蒲池) 安川金弥(下舌) 松山勘右衛
門(上麻生島)

補充員 ①南部清一(中丁) ②野中次郎
兵衛(伏石) ③山田正一(五条方) ④林
金之助(西勝原)



『魚 止』

一段岩高く水滝の如く落ちるなり
岩の上に大木をふせて下より魚を留
めせき、洄の漂う所を手網又は水潜
して取るなり

(絵図記——越前国名蹟考)

電源開発工事で、水は灰色ににご
っているが、九頭竜の流れは、絶壁
のみじをうつして、奇岩怪石重疊
の間を瀬となり淵となって流れる。

やはり魚止め(魚はしりともいう
)は、九頭竜峡の圧巻である。奥越
観光協会や地元および関係者の手に
よって標識がたてられ、石をしきな
らした道が、川岸までおりられるよ
うにつけられている、

岩をかわ 双絶壁の 魚走り

九頭竜一の 奇観絶勝
(奥越百首歌留多——坂井 保氏)
(写真は絶景魚止に立てられた標識)

議員の定数減を議決

最終日の本会議において、土屋栄議員
ほか 5議員より「市議会議員の定数30名
となっているのを26名にする議案」が緊
急提出されました。審議の結果、満場一
致で本案を可決、次ぎの市議会議員選挙
から実施することになりました。
このため、市長は10月11日、「大野市議
会の議員の定数を減少する条例」(10月
11日公布)を公布しました。

選管委員長に安川金弥氏

選挙管理委員会が10月 9日に開られ

大野市選挙管理委員会委員長に安川金弥
氏(60)に決まりました。

市民懇談会おわる

市では10月16日富田公民館を振りだし
に、各公民館に市民の方のお集まりを願
い、市政について正しい理解と協力を得
るため市民懇談会を開き、市民との対話
が活発に行なわれました。

市側からは寺島市長、田島助役をはじめ
各課長が出席、寺島市長から市財政再
建計画の基本方針と行政について説明し
たあと懇談に入りました。

各会場で出された要望や苦情は建設、
教育など市民の切実な問題が打ち出され
ました。

市ではこの席で約束した事項は必ず
実行し、実施できないことはなぜ実施で
きないかを回答しご理解を得ました。

今後、町内会、婦人会などご希望あれ



ばいつでも市長はじめ関係課長が出席し
懇談することになっていますので総務課
まで申し出てください。

(写真は 財政再建計画

を説明する寺島市長)

投票所の区域と 名称が変わる

選挙

市選挙管理委員会は投票所の区域と名称の変更を行ないました。これは住居表示、および行政区画の編成替えによるものです。各投票区ごとの区域は次のとおりです

有権者総数 28,426名 前回に比べ 73名の増

市選挙管理委員会では 昭和42年9月30日現在の永久選挙人名簿の登録者を確定しました。

それによりますと市の有権者は28,426名で、男は13,175名、女は15,251名です。これを前回と比べますと73名の増加となりました。

各投票区別有権者数次のとおりです

投票区名	男	女	計
第1投票区	1,341人	1,634人	2,975人
第2 "	876	1,039	1,915
第3 "	1,342	1,634	2,976
第4 "	1,810	2,154	3,964
第5 "	537	579	1,116
第6 "	350	415	765
第7 "	1,046	1,180	2,226
第8 "	285	321	606
第9 "	383	436	819
第10 "	834	937	1,771
第11 "	84	101	185
第12 "	39	38	77
第13 "	308	329	637
第14 "	239	276	515
第15 "	243	274	517
第16 "	135	95	230
第17 "	49	57	106
第18 "	63	63	126
第19 "	330	375	705
第20 "	455	498	953
第21 "	286	344	630
第22 "	152	167	319
第23 "	855	962	1,817
第24 "	306	358	664
第25 "	163	185	348
第26 "	11	8	19
第27 "	653	792	1,445
合 計	13,175	15,251	28,426

ことしから袋募金

共同募金運動を展開

募金

ことしも10月1日から「赤い羽根——国民たすけあい

投票区名	投票区の区域
第1投票区	泉町1、泉町2、清滝、城町1、城町2、城町3、水落町1、水落町2、本町1、元町1、元町2、明倫町1、明倫町2
第2 "	要町、本町2、本町3、本町4、本町5、錦町1、大和町、美川町、月美町
第3 "	元町3、元町4、元町5、元町6、明倫町3、明倫町4、明倫町5、日吉町1、日吉町2、高砂町1、高砂町2、高砂町3、高砂町4、高砂町5、天神町、鍛冶
第4 "	日吉町3、日吉町4、日吉町5、日吉町6、糸魚町、弥生町、篠座町、春日野、春日1丁目上、春日1丁目中、春日1丁目下、春日2丁目東、春日2丁目西、春日3丁目、幸町、有明町
第5 "	上舌、下舌、阿難祖地頭方、阿難祖領家、上黒谷、下黒谷、上荒井、深井、飯降、新庄、右近次郎、千歳、南春日野、下舌1、下舌2
第6 "	大門 尾永見、坂戸、花山、下丁、中丁、上丁、犬山
第7 "	中野町1丁目、中野町2丁目(中野町3丁目を含む)、西市、中荒井町1丁目、南新在家、横枕 中津川、東中津川、西新在家、新町、矢
第8 "	庄林、太田、小矢戸、大矢戸、西大月、東大月
第9 "	堂本、友江、中保、中挟1、中挟2、菖蒲池
第10 "	森山、西山、平沢領家、平沢地頭、野中、稻郷、上掘、東山、御給、友兼、開発、森政地頭、下郷、猪島、医王寺、中掘
第11 "	上若生子、下若生子
第12 "	宝 慶寺
第13 "	木 本
第14 "	今井、佐開 上五条方 下五条方
第15 "	森政領家、下掘、北御門、吉、東中
第16 "	東勝原、西勝原、第一発電所、第二発電所、仏原
第17 "	下 打 波
第18 "	上打波(嵐を除く)
第19 "	篠座上、西掘、榎
第20 "	伏石、柿ヶ島、八町、大月、御領、橋爪、義道、落合、堂島、金山、小黒見
第21 "	森本、松丸、萩ヶ野、花房、不動堂、石谷
第22 "	南六呂師
第23 "	七板、土打、上野、富島、新田、下麻生島、川上、(上麻生島) 田野、井ノ口、塚原、富田開拓、富塚
第24 "	木落、蔵生、下唯野
第25 "	森目、新河原、土布子
第26 "	上打波の内、嵐
第27 "	錦町2、美川町2、中荒井町2丁目、中荒井町3丁目、新栄町

共同募金運動」が全国いつせいにこなわれています。

赤い羽根募金は貧困家庭の援助をはじめ、地域の福祉向上のための資金として、明るい社会づくりに大きな役割を果たしています。

ことしの共同募金目標額は昨年よりも47000円少ない1,237,000円で1世帯平均140円です。

これまでの募金は各区に目標額を決めてお願いしていましたが、ことしからは袋募金として、ご協力を願うことになりました。

昨年以上の成績がおさめられるよう市民の皆さんの心一ぱいのご寄付をお願いします。

行政相談

毎月 第一月曜日市役所で

行政監察局では毎月 第1月曜日、市消防署の会議室において行政相談を開いています。お気軽にお出かけください。料金は無料です。

当市の相談員は赤星龍顕氏です

最新式の機械を購入

上庄小給食を再開

上庄小学校給食室は昭和22年に市内の学校にさがけて新設されたため、施設備品などの損耗度がはなだしくなったので改築されました。

給食室は総工費174万円を投じて8月1日に着工され、工事が急がれていましたが、9月28日完了し給食が再開されています。

新しい給食室はたて10.8メートル、よこ8.10メートルで、これまでよりやや大きくなっています。なお給食室には最新式のパン焼機、消毒機、ガス回転カマドなどあらたに購入されました。

このため食パン給食に変わり、全員があたたくておいしい給食ができるようになりました。



(新しくなった上庄小学校給食室)

もてる力を出し合う 婦人のつどい開く

市教育委員会では11月12日市民会館で婦人のつどいを開きます。

これは近年急テンポで進む社会に対して、婦人会員が一堂に集まり、日頃の学習や活動の成果をたしかめ、更にみんなでもてる力を出し合って家庭、社会に役立てようというものです。

当日は作家加藤千代氏をお迎えし「生活を見つめ、社会に目を向けよう」という記念講演も開きます。

歴史館建設に ご協力を

明治100年記念事業の一つとしていま郷土歴史館を亀山のふもと柳瀬社の境内に建設しております。

このねらいは郷土の歴史、芸術、民俗産業などに関する資料を蒐集保管し、展示して教育的配慮の下に市民の利用に供し、教育文化の発展に貢献しようとするものです。

この事業費は600万円ですが、建設資金は市民の方々に協賛をお願いしております。

大野市の教育文化発展のためにこの趣意にご理解と賛同下さいまして多少にかかわらず大野市郷土歴史館建設委員会へご寄附下さいますようお願いいたします

事務局は市教育委員会社会教育課にあります

小作料最高額の 基準がかわります

このたび、農地法の一部改正で、小作料最高額の基準が昭和42年9月1日より変わりました。

これは農業機械、肥料代金、それに農産物など、諸物価の上昇により、昭和30年に決められた小作料では実情にそわなくなったために改正されたものです。

いままで農地法に基づいて契約されていた小作料は地主、小作両者協議のうえ田についてはこれまでの4倍(最高限度)畑については2.5倍(最高限度)の範囲内で決めてもさしつかえないことになっています。小作料について不明の点は市農業委員会でおたずねください。

納税者の声を聞く旬間 11月1日～11月10日

税についての納税者の意見や要望を広く聞き、できる範囲で税務行政の改善にとり入れ、またこの機会に納税者と税務官庁との意志の疎通をはかり「近ずきやすい税務署」の実現をおしすすめたいと思います。なお、本年度は申告納税制度20周年にあたりますので、1.税務署幹部の納税者宅訪問 2.納税者の声をきく座談会 3.婦人団体の税務署見学、アンケート募集などの行事計画されています。

(大野税務署)

11月19日……家庭の日

今月のテーマ

はたらくよろこびと 尊きについて話しあい すすんで仕事や奉仕につとめよう。

林業先進地の視察

美山町から池田町にかけての足羽川林業地は水海杉、金見谷杉など「池田さし木杉」の本場として、県外にも好評であり、本県最初の林業構造改善事業の指定を受けています。

そこで池田町近辺の展示施設(施肥、間伐、品種別展示林など)の視察をいたします。11月8日午前9時から市役所で行ないますので希望者はご出席ください。

◎ 申込先 市林務課(☎3600内線43)

◎ 視察予定日 11月14日頃

◎ 経 費 1人 約500円

あほなこっちゃ

「新婚旅行シーズン」

赤くもなります

—もみち—

アホナコッチャ

◎ し尿のくみ取りは早めに

ことしもあと2カ月に おし迫ってきましたが、年末になってのくみ取りには困ります。

市営し尿処理場の処理能力は1日 27キロリットルで、これ以上の処理は困難です。このため一度にくみ取りを要請されても応じきれないのが実情です。業者とご相談のうえ、早めにくみ取りを終わられるようにしてください。

インフルエンザ予防接種

1回目	2回目	会 場
11月29日	12月6日	大野公民館
11月29日	12月6日	小山 "
11月30日	12月7日	富田 "
11月30日	12月7日	阪谷 "
12月1日	12月8日	六呂師小学校
12月1日	12月8日	下庄 "
12月4日	12月11日	上庄 "
12月13日	12月20日	大野公民館

◎ 時間はいずれも午後1時から午後2時まで(六呂師小学校は11時30分まで)

◎ 手数料は3カ月以上1歳未満100円

1歳以上6歳未満140円 6歳以上15歳未満180円 15歳以上280円です。

文化財を保護しましょう

文化財保護強調週間

市内には昔から貴重な文化財が多く指定保存されていますが、まだ皆さんの家のすみに放置されているものも多いのではないかと思います。

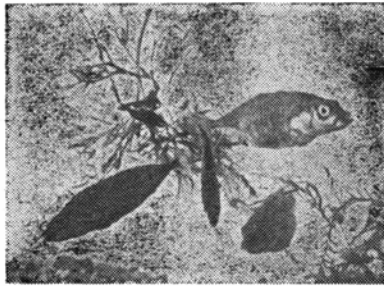
これらの貴重な文化財を保護するために11月1日から7日までを文化財保護強調週間として、文化財保護の万全を期することになりました。

貴重な文化財を市民全体の財産として末永く保護するために全面的にご協力をお願いします。

大野市では文化財保護委員会を設置し文化財の発見と保護につとめています文化財として指定されている主なものは次

ぎのとおりです。

友兼のけやき、いとよ、亀山城跡、白山神社のカツラの木、かんこ踊、扇踊……など数多く指定されています。



(本願清水に生息しているイトヨ)

県鳥の募集について

県鳥コウノトリは土地の開発や農業の影響などにより、県民の愛護のかいもなく死滅し、今後県内に棲息する見込みがなくなりましたので、県では新しい県鳥を広く県民から募集することになりました。

下記要領で多数応募してください。

○ 募集期間

昭和42年11月1日より11月30日まで

○ 応募資格

福井県民であること。

○ 応募方法

① 官製ハガキに次ぎの候補鳥類名 1

種を書き、応募者の住所、職業、氏名、年令を明記する

② 候補鳥類

ツグミ (ツグミ科) 冬鳥

アオサギ (サギ科) 留鳥、一部漂鳥

ヤマドリ (キジ科) 留鳥

コチドリ (チドリ科) 夏鳥

ケリ (チドリ科) 留鳥

○ 応募締切り

昭和42年11月30日までに到着のこと

○ 応募先

福井市大手3丁目

福井県林務課 「福井県鳥募集係」

○ 表彰賞金 20,000円 1名

記念品贈呈 20名

九頭竜峡一長野ダムコース完成

奥越高原活気づく

山々は日ましに紅葉しはじめ、ここ奥越高原県立公園一帯は日曜には観光バス自家用車でつめかけ秋をたのしむ人たちが活気づきはじめました。

観光地として九頭竜川上流一帯は、現在電源開発工事の本格化にともない、奥越高原県立公園の観光地の一つに加えられ、大きくクローズアップされようとしています。

9月10日から 国鉄の協力を得て観光客の誘致をはかっていますが、回を重ねるたびに観光客がふえ、九頭竜峡、長野ダムコースも一段と脚光をあびてきました。なお、日曜日、祝日は越前大野駅前より「もみじ号」が運行されています。

簡易保険の団体払込みと貸付

◎ 簡易保険の保険料を町内ごとに15件(被保険者)以上とりまとめて払込んでいただきますと、月額保険料の7分が割引されます。この割引料を半年より1年分を積立てておいて町内皆さんのためになる物品を購入したり、慰安旅行や厚生施設などに活用されてはいかがでしょうか。

◎ 上記の団体をおつくりになると、月額保険料の30倍まで、年6分の低利で借りることができます。この制度の利用によって町内の道路舗装、アーケード、防犯灯の設置、農機具の共同購入簡易水道の設置などができます。

くわしいことは郵便局窓口でお気軽におたずねください。

保険料払込証明書の発行

給与所得者の保険料控除申告、または確定申告のため税務署に出す証明書は翌年3月15日まで、窓口で発行いたします。お申しでのときは必ずその領収帳を持参ください。

(大野郵便局)

重なるしだいである。

そのふもと歴史館に古き灯がともるときわが大野市の精神的成長に大きく一歩を

は、郷土の歴史資料をはじめ民俗産業その他いろいろの文化資料を収集保存して時代の推移を知らせるとともに、先人の労苦の足跡をしるすものである。▲大野市郷土歴史館建設委員会の構想は周知のとおりだが、われわれ市民は歴史の続く限り同館の充実を期さねばならない。この意味で各家庭に残されている民俗的資料が続々同委員会に寄贈されつつあることは感激の至りである。

やがて完成を見る越前大野城を仰ぎ、そのふもと歴史館に古き灯がともるときわが大野市の精神的成長に大きく一歩を



「菊の香や、明治は遠くなりけり」の秋である。吉田元総理の国葬もはてて、何か明治人の気骨が